

みよう こう さん
妙 高 山

最高点北峰頂上にて 12:37~13:03

更に行くと少し低い広場に出る。大きな岩がヨキヨキ突立っている。その間を通り、岩の上へ乗ったり飛びずりたりして矢印に沿って右へ回り込むと広場に出る。この中央に三角点がある。ザックを置いて左後部の一番高い岩峰の上へ乗り周辺を見わたすが、雲のため富士もハケ岳もアルプスも日本海の方角も判別することができぬので、みかんを食べながら、これから下る道を見かろすだけ。

南峰頂上 12:24~12:30 荒涼とした風景

登りつめた南峰には、妙高大神・將軍地藏の
石祠がある。天は蒼々が周囲は雲のため展望
がきかないのが残念、三角点のある北峰を眺
めると巨岩の乱立と散乱が目にとまり、ちょっと
異様な風景である。三角点へは直線であ
る20メートル余りだが洞穴の前を通る。洞穴の
岩の一端から落ちるしずくを受ける水槽が
あり、透明な水は非常の場合に役
立っと思った。

光善寺池～鎖場

光善寺池で気温20℃にのびり、小春日初の暖かさ。
笹の間の道巾60cmほどのより道だが、途中木段、急
斜面、雨裂のV字溝の所もあるが、くなくくときどき
つた道だ。ネエ葉は過ぎてダケカンバだけが美しい。
また赤い実を鈴なりにつけたウメドキナギが鮮やかだ。

もうすぐ鎖場のれがあり3分て岩
壁の前に出る。約10^m2本吊り下
げられ階段が刻んであるので、

安心して登れる。
登り終って昼食にお

惣滝分岐～麻平

紅葉、黄葉も冷夏と雨の多ゆた
本年は葉も傷み枯水落ちて済な
い。調子も元氣も出ないうちに麻平
へくる。少しも平らびなく、広場もなし。
ここから燕新道の長助が世や三ツ峰
方面へ分れるが、我々は直進する。

登山口～惣滝分岐

霧雨にくすぐる山を見上げては残念
に思いつながら、大田切川の濁音を
聞きながら行くに北地獄谷にかかる
吊橋を渡る。道が良くてうらやま
惚れ滝への道へ直進しかけ、すぐ道
標に気付いて左へ登る。

天狗平

ダケカンバと笹の間の
小径を登り、木段を上
がると直ぐ明子池の
前に出る。池の右側を
西側にある広場まで行
くと、30名以上の大パター
が休憩中、この池が老善
寺池でワタズゲの生える
池、32mほどの長さである。

胸突八丁~天狗平

胸突ハ丁の名前から、気合を入れて
ミグザグ急登を登る。雨もすっかり止んで
見る見るうちに青空が広がり陽が当る
ようになふ。嬉しなつてヒツチは上がる。
左傾りのザレを見てすぐにロープに掴まって
一段乗り上がる。曲りかねてから本段
と20段上がりよと乗越へ出る。
景色は明るく開け、右上部の岩峰
は妙高山、南峰頂上の一面など
と思う。ここから5分の平坦路で天狗平へ

北地獄谷の道標
から河原に向って行くと
岩に矢印があり、北
地獄谷を渡る。数名の
パーティーが大体憩っていた
横を通って、矢印に合った谷の
左手を登る。丁度30分で胸突江

バスは9:10発のためタクシー相乗りで燕
温泉へ入る。天気は朝から霧雨で次々集
まるパーティーもひと休み。みんな朝の腹ごしえ
をして雨具を着けて出掛ける。我々も大
降りなのでコースを確認に出発する。

燕温泉
標高1100M

奥村, 浅川,
14kg 15kg
T14.3.20 52.9.26

至長野

